

令和2年度 今治市野間馬ハイランド指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市野間馬ハイランド
所在地	今治市野間甲8番地
指定管理者	<p>名 称 野間馬保存会</p> <p>代表者 会長 大澤 譲児</p> <p>住 所 今治市阿方甲246番地1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	施設の設置目的や管理運営の基本方針を十分理解して指定管理者業務を実施している。	A	適正に業務が実施されており、平等な利用の確保や施設の設置目的に沿った管理運営がなされている。
利用状況	B	利用者の減少はゴールデンウィークがコロナによる緊急事態宣言で休園したこと、乗馬の体重制限を25kg以下に設定したことが大きい。しかし、コロナ禍でも屋外ということで、利用者の多い月もあったが、昨年の約75%となった。緊急事態宣言解除後の6月から3月を比較すると前年対比103%であった。	B	全体では利用者数は減少したものの、コロナ禍において当施設は屋外で密を避けられることから、月によっては利用者が前年よりも多くなってきている。引き続き、感染症対策を徹底した利用体制を整えるとともに、乗馬利用者の体重制限が従前どおりとなるよう努めて頂きたい。
事業収支	A	野間馬保存会の経理に関しては、越智今治農業組合乃万営農センター長が担当しており、会計帳簿の整理や会計伝票の作成、印鑑の管理などを適切に行った。また、収支計画に基づいて予算執行を行い、資金調達においても余裕をもって対応できた。	A	各協会等との連携に取り組み、収入増が図られている。計画的及び臨機応変に修繕業務を実施するなど、適正な予算執行が行われており、評価できる。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	B	維持管理業務について一定水準の取り組みを行った。外部の講師を招いての研修はコロナで中止となったが、内部で削蹄の技術研修を実施した。	B	業務の運営に支障の無いようローテーションが組まれているとともに、障がい者への業務の調整など、職員配置について適切に対応が出来ている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部研修が中止となったが、代替として削蹄技術を身につけるための内部研修を実施するなど、研修体制についても評価できる。
管理運営業務	A	一定水準の取り組みを行っているが、特に植栽管理及び清掃管理業務については、職員全員で積極的に取り組んでおり、管理運営の基本方針にあるとおり、清潔感のある人の目が行き届いた公園を目指した。	A	職員一丸となって公園を管理しており、手入れが行き届いていることは高く評価できる。コロナ禍において、当施設は公園利用としても利用者が増えてきている印象があることから、来園者にとって憩いの場となるよう、今後も公園管理を徹底して頂きたい。
利用業務	B	コロナで遠足など団体のお客様が利用できない状況であったが、ホームページで更新の頻度をあげて野間馬ハイランドを紹介する様に努めた。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ちびっこのまうま祭りを開催できなかったのは残念であるが、無料広告への掲載やメディア等への取材対応を積極的に受け入れるとともに、ホームページ更新の頻度を増やすことで、野間馬ハイランドのPRに努めたことは評価できる。今後も、ホームページの更新については回数をさらに増やし、SNSを積極的に活用するなど、今後も施設のPRを図って頂きたい。
飼育管理業務	A	鹿児島大学、岡山理科大学に指導をいただきながら健康管理を行った。馬にストレスが少なく健康に生活できる環境を考えて、飼育・繁殖に取組み、適正頭数を維持した。	A	市指定文化財である野間馬の頭数維持のため、専門機関と連携した健康管理などの各取り組みに対する体制が出来つつある。計画的な繁殖や利活用馬の調教などの課題に対して、今後も専門機関の知見を取り入れることにより、解決できる体制の継続を図って頂きたい。
その他業務	B	コロナ禍で動物との触れ合いなどを中止する動物園が多い中、緊急事態宣言が全国に拡大された際は当園も一時休園したものの、それ以外では感染症対策を徹底したうえで開園することに努めた。ハイランドではモルモット触れ合いや乗馬の前に手の消毒、乗馬時の防具(ヘルメット・ベスト)の消毒をし従来通り実施した。また、まきば館においても入館時にはマスク着用・消毒の徹底を図った。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組みにより、当施設が安心・安全に運営できたことは高く評価できる。今後も感染状況に注視しながら、施設の適切な運営に努めて頂きたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
修繕業務	A	施設の老朽化で修繕や部品の交換をした。コロナでできなかったイベントの予算で、長年の懸案事項であった、みどりの広場外周の舗装修繕を行った。	A	当施設は老朽化が進んでいる部分が多くなってきているが、執行不要となった予算を活用し、修繕を前倒して実施できたことは評価できる。今後も、予算の状況を見ながら臨機応変に対応していただきたい。
備品管理業務	A	一定水準での取り組みを行うとともに、既存物品については点検を行い、適切に使用した。	A	削蹄道具の更新やアブ捕獲機の導入など、野間馬のことを考えた備品の更新に努めたとともに、防災の観点から発電機を導入するなど、適切に備品の整備ができています。引き続き、備品の適正な管理をお願いしたい。
自主事業	B	自主事業として「野間馬の日(無料体験乗馬)」の実施、野間馬新聞の発行を行い、一定水準以上の取り組みを行った。	B	定期的な自主事業の実施により、野間馬のPRが図られている。今後は、とくに野間馬の日の周知方法について検討いただき、より施設の利用者増となるよう努めて頂きたい。
地域団体との連携	B	今治市立乃万小学校の総合学習や野間馬クラブの受け入れ、地域清掃活動への積極的な参加や地域活動への場所の提供などを通じて、地域団体と良好な関係を築いた。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の活動については実施できなかったことは残念であるが、今後も地域との連携が途絶えることのないよう、良好な関係の維持を図って頂きたい。
利用者アンケート	B	アンケート結果については満足いくものであった。また、日々のミーティングにおいて利用者の満足度向上に向けて取り組んだ。施設の要望については迅速に対応した。	B	好印象であるとするアンケート結果が多く、また改善要望等についても概ね対応がなされており、評価できる。夏場の暑さ対策のようにすぐに対応が難しい意見もあったが、対応策については引き続き検討をお願いしたい。
事故・苦情	B	事故、苦情の問い合わせはなかったが、朝礼、終礼のミーティングにおいて気が付いた事を共有し、問い合わせがあった場合、適切で丁寧な対応が出来る様にした。	B	目立った事故、苦情がなく、施設を安全に運営できたことは評価できる。万が一の状況を想定し、職員間で適切な対応が取れるよう、引き続き情報共有できる体制の構築に努めて頂きたい。
指定管理者の経営状態			財務諸表及び会計帳簿を精査した結果、適正に作成されており、経営状態は健全かつ安定していると認められた。	

総合コメント(市)

指定管理者は、今治市野間馬ハイランド条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務は適正に実施されていると認められた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、施設の一時休園や毎年実施していたちびっこのまうま祭りを中止とするなど例年になく対応が多かった一方で、屋外で密を避けられるという理由から利用者数が伸びている時期もあり、感染症対策を徹底した利用体制を整えることができたことは評価できる。

今後も、感染症対策の継続を図りながら、施設の適正な管理運営に期待するとともに、市指定文化財である野間馬の種の保存と利活用のバランスに努めて頂きたい。